

平成 27 年度定時会員総会報告

ONSA 事務局長 藪下 延樹

一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会（以下、ONSA）は 5 月 26 日（火）大阪大学中之島センターにおいて平成 27 年度 ONSA 定時会員総会を開催致しました。出席できなかった会員各位のために、定時会員総会・ONSA 賞授与式及び交流会の内容を簡単に報告します。

今年度の定時会員総会は ONSA が新公益法人改革制度で「一般社団法人」へ移行後 3 回目の定時会員総会、一般社団法人化の新定款の施行による「会計報告」では 2 回目となりました。新定款の施行・運用による不都合も一部発生して、移行した 1 回目の定時会員総会に引き続いて、同 3 回目の本定時会員総会で運用しやすいように一部修正案を提出しました。

定時会員総会は、大嶋専務理事の開会宣言を皮切りに、豊松秀己会長のあいさつ、本総会への参加者数の確認（全正会員 62 名で委任状を含めて出席者 45 名）と進み、続いて豊松秀己議長の進行で以下の議事が進められました。

報告事項「平成 26 年度事業報告」

- a. 会員数の変動：-2（昨年度実績比 団体会員-2、個人会員±0、賛助会員±0）。
- b. 広報活動：
 - ・第 31 回「みんなのくらしと放射線展」（関連 9 団体の共催事業）
8 月に 3 日間（最終日は台風のため、一部を 9 月に延期）大阪科学技術センターで開催した。参加者数は延べ 2,029 名（各会場ごとの集計値）であった。
 - ・ONSA ニュース（紙媒体）の発刊 4 回（昨年比±0 回）。
電子媒体による速報を 40 回（昨年比+14 回）発刊した。
 - ・ONSA ホームページ(HP)の閲覧数
年間約 6,862 件で順調に伸びている。閲覧者数は平均値で、約 18.8 人/日をキープしている。今年度から HP システムが向上して、延べ閲覧者数が集計できるようになり、一度 HP に入って 1 閲覧者が各ページを閲覧するページ数は平均 2.6 ページ、延べ閲覧数 42.6 ページ/日であった。
- c. 技術研究会等開催事業（ONSA 単独事業）：
放射線科学研究会 3 回、UV/EB 研究会 3 回、放射線利用総合シンポジウム 1 回、見学会 2 回を開催。計 9 回、参加者数延べ 288 名（昨年度実績比：開催回数±0、参加者数-15 名）でほぼ例年通り。
- d. 研究調査事業（受託研究）等：1 件。
- e. 大阪府立大学コバルト 60 ガンマ線照射業務：
大阪府立大学との受託契約に基づき、協会職員延べ 3 名（照射業務担当(室長)1 名、受付業務担当延べ 2 名）を派遣。
- f. 26 年度 ONSA 賞選考発表：
 - ・ONSA 賞 応用研究・開発部門
大阪府立大学地域連携研究機構・准教授 松浦 寛人
授賞対象課題：核融合プラズマおよび大気圧プラズマの計測と応用に関する研究
 - ・ONSA 奨励賞 医療・教育部門
大阪大学医学系研究科保健学専攻 医用工学講座・助教 齋藤 茂芳
授賞対象課題：小動物用マイクロ CT を用いた生体微細構造評価と病態モデルへの応用

第1号議案「平成26年度貸借対照表(案)・損益計算書(正味財産増減計算書)(案)・財産目録(案)・貸借対照表及び損益計算書の注記・附属明細書(案)・公益目的支出計画実施報告書(案)及び監査報告(案)」

- a. 収入合計：16,039,558円(26年度予算比-1,876,442円)
- b. 支出合計：17,435,259円(26年度予算比-930,936円)
- c. 当期収支差額：-1,395,701円(26年度予算比-945,506円)
- d. 技術研究会開催収入が会費無料の学生、一般市民が増加して減収となった。
- e. 指定正味財産の“ONSA賞”は授賞者が計画2名に対して、授賞者1名となり26年度予算比-336,774円を執行した。
- f. 監査結果の報告：監事からの「適正」監査報告書及び友近公認会計士事務所の「適正」監査報告書を説明。

第1号議案は決議された。

第2号議案「平成27年度事業計画(案)・収支予算書(案)」

a. 事業計画内容：研究調査受託収入の大幅減少が見込まれ、縮小均衡型予算となった。内容はほぼ例年通り。

b. 会員サービスの充実：会員獲得を図るために、今年度は昨年度に新設した「会員ページ」を更に充実して以下のサービスを行う。

・会員への「会員ページ」サービス

従来から団体会員へ年1度、1冊紙ベースで提供していた「各年度研究会報告書」に電子ベースを追加して、会員(個人、会員団体会員)及び役職員はONSA HP「会員ページ」から人数制限なしに元原稿がカラー版はカラーで、常時閲覧・印刷可能とする。

・「各年度研究会報告書」の内容

放射線科学研究会(年3回)：平成9年度～平成25年度の17年分

UV/EB研究会(年3回)：平成9年度～平成25年度の17年分

放射線利用総合シンポジウム(年1回)：平成3年度～平成25年度の23年分

材料科学研究会：平成9年度～平成10年度の4回、応用生体科学研究会：平成9年度～平成10年度の5回

特別講演会：平成11年度の1回、ONSA賞受賞講演：昭和61年度～平成25年度の15回

閲覧可能論文数：A4サイズで約5,000ページ

この報告書の内容を検索するには、yahoo や google(yahoo と同一エンジンを使用しているので同一結果)等の検索機能を使用して、「大阪ニュークリアサイエンス協会」と検索目的語の例えば「放射線架橋」の二重検索を行うと、目的論文が発見できる。

- c. “ONSA賞”は今年度約45万円の予算執行を計画。
- d. 経常収益：16,294,000円(前年予算比-1,622,000円)。
- e. 経常費用：17,748,000円(前年予算比-618,000円)。
- f. 当期収支差額：-1,454,000円(前年予算比-1,003,805円)。

第2号議案は決議された。

第3号議案「定款一部変更の件(案)」

内容は以下の通り。

a. ONSA 賞授賞者は授賞翌年度から ONSA 会員として、ONSA の活動に 5 年間参加する」としているが、正会員として会費を徴収するのは不適切なので、会費を徴収しない「ONSA 賞会員」を創設する。

b. ONSA は新しい定款の下で「一般社団法人」に移行して満 2 年を経過したが、定款の運用上、「理事会に会長が欠席の場合の措置」等実状に対応出来ない場合があるので改善するものである。

第 3 号議案は決議された。

ONSA 顧問と参与委嘱

各団体の定期人事異動等に伴う変更である。

ONSA 賞授与式

定時総会終了後、ONSA 賞授与式を開催した。豊松秀己会長が下記の授賞者に表彰状と副賞を授与した。

ONSA 賞 応用研究・開発部門

大阪府立大学地域連携研究機構・准教授 松浦 寛人氏

ONSA 奨励賞 医療・教育部門

大阪大学医学系研究科保健学専攻 医用工学講座・助教 齋藤 茂芳氏

交流会

続いて、別室にて、参加者 3 4 名による交流会を開催した。

交流会は、豊松秀己会長の開会の挨拶、副会長の乾杯の発声に続いて和やかに開催した。会員各位、参与の皆様、ONSA 賞授賞者を交えて有益な交流会を滞りなく終了することが出来た。これも偏に会員各位のご協力の賜物と、ここに厚く御礼申し上げます。



総会のスナップ



ONSA 奨励賞授賞式、齋藤氏と豊松会長



ONSA 賞授賞式、松浦氏と豊松会長



懇親会のスナップ